

表紙(P1)―別掲

令和 3 年度いわて未来政策・政経研究会活動決算

単位:円

収 入	本年度予算(A)	本年度決算(B)	差異(B-A)	備 考
1 会 費	719,000	743,000	24,000	
(1) 正会員(個人)	220,000	208,000	△12,000	2,000 円×104 人
(2) 正会員(団体)	440,000	480,000	40,000	20,000 円×24 団体
(3)賛助会員(個人)	49,000	45,000	△4,000	1,000 円×45 人
(4)賛助会員(団体)	10,000	10,000	0	10,000 円×1 団体
2 広告料収入	24,000	24,000	0	会報への掲載。3 社 (人)×2,000 円×4 回
3 寄付金	30,000	36,000	6,000	延べ 11 人
4 いわて平成松下 村塾受講料	20,000	0	△20,000	
5 繰越金	2,289,268	2,289,268	0	
6 雑収入	100	7,975	7,875	利息、使用料返金等
計	3,082,368	3,100,243	17,875	
支 出	本年度予算(A)	本年度決算(B)	差異(A-B)	備 考
1 会議費	103,000	81,680	21,320	総会、理事会。旅費・ 交通費、印刷費、通信 費、消耗品費等
2 総務費	2,360,000	259,323	2,100,677	
(1) 報酬	120,000	120,000	0	常勤役員(会長)報酬 10,000 円×12 月
(2) 臨時雇用費	72,000	72,000	0	集中的作業要員賃金
(3) 旅費・交通費	18,000	15,000	3,000	出張経費
(4) 交際費	5,000	2,756	2,244	弔電等
(5) 備品・消耗品費	15,000	13,730	1,270	消耗品経費
(6) 通信・運搬費	10,000	9,870	130	郵送料、切手代
(7) 印刷費	5,000	2,078	2,922	コピー代
(8) 雑費	35,000	23,889	11,111	会費払込手数料
(9) 積立金	2,080,000	0	2,080,000	次年度以降事業円滑 化積立金。次年度に繰 越し

NPO 法人いわて未来政策・政経研究会会報 第 49 号(R4. 7. 29)

	本年度予算(A)	本年度決算(B)	差異(A-B)	備 考
3 事業費	564,000	364,246	199,754	
(1) 普及促進事業	120,000	89,528	30,472	会の目的達成のための普及促進。印刷費、通信費、旅費・交通費、ホームページ料等
(2) 会報発行	240,000	228,856	11,144	4 回発行。印刷費、通信費、消耗品費、執筆謝礼等
(3) 十周年記念事業	0	0	0	令和 2 年度事業。令和 3 年度は実施無し。
(4) 講演会	44,000	37,468	6,532	2 回開催。講師謝礼、旅費交通費、印刷費等
(5) 政治家等との意見交換会	100,000	8,394	91,606	コロナ禍で事業中止。準備段階での諸経費
(6) いわて平成松下村塾運営事業	30,000	0	30,000	入塾者無し。
(7) 会員等親睦交流事業	30,000	0	30,000	コロナ禍のため事業中止
4 予備費	55,368	20,000	35,368	講演会時の会場代
計	3,082,368	725,249	2,357,119	
収入 — 支出	0	2,374,994		次年度に繰越し

会 計 監 査 報 告 書

令和 4 年 5 月 10 日、特定非営利活動法人いわて未来政策・政経研究会事務所（奥州市江刺愛宕字橋本 119 番地）において、事業報告書、活動決算書等決算に関する書類を監査した結果、諸帳簿・通帳・証拠書類が、正確かつ適正に処理されていたことをここに報告いたします。

令和 4 年 6 月 18 日

特定非営利活動法人
いわて未来政策・政経研究会

監 事 千 田 幸 雄



監 事 葛 西 久 雄



いわて未来研インタビュー

★ 中心課題は、「ウイズコロナ・ポストコロナ時代の健康・医療・福祉」です。 ★

❀ 世界一の地域医療を目指して ❀



小川 彰 さん

(1949 年宮城県生まれ、岩手医科大学医学部長、学長などを経て、同大学理事長。日本私立医科大学協会会長。専門は脳神経外科)

相原: 御大学及び附属病院は岩手の医療の中心であるだけでなく、岩手発展軸の要の位置にあると常々感じております。

そんな中、昨年 5 月に標題に関したご著書も発行され、早速手にして認識を深めさせて頂きました。この度親しくのお話をお伺いする機会を頂き感謝申し上げます。

小川: 本学の挑戦はまだ道半ばです。第二の草創期の思いで、更なる発展への決意を持って日々取り組んでおります。今日は問われるままにお答えしましょう。

♥ ♠ — 以下、質問部分を省略 — ♦ ♣

● チーム医療の先駆けとして

♥ 幕末の戊辰(ぼしん)戦争における南部藩の



新岩手医科大学附属病院(2019. 9 開院)

動きを見ても岩手県人は筋が通っていると思います。本学は明治 30 年に私立岩手病院に医学講習所と産婆看護婦養成所を併設し開院しました。明治政府の施策に先駆けて「医師のみを養成しても医療は良くならない。あらゆるメディカルスタッフもあわせて養成する必要がある」という現代のチーム医療を明治の時代に創立者三田俊次郎は実践しました。

♠ 2017 年には創立 120 年の節を刻んだ本学ですが、その記念事業として狭隘化した内丸キャンパス(盛岡市)から矢巾町への総合移転事業が計画され、2007 年に矢巾キャンパスを竣工し(第一次事業)、その際、薬学部を新設しました。

2011 年には、第二次事業として、矢巾キャンパスに医学部・歯学部の基礎講座・共同研究部門を移転し、わが国で初めて医学部・歯学部・薬学部の医療系三学部を同一キャンパスに揃え、2017 年には新たに看護学部を開設し、四学部が連携する名実ともに医療系総合大学とな

※ 本稿の画像は編集事務局挿入

りました。学部の壁を越えた「多職種連携教育」を進め、チーム医療の先駆けを実践しています。

- ◆ 本学の学是は「医療人たる前に、誠の人間たれ」です。豊かで深い人間性を培わなければ、医療人にはなれないということです。私は、誠の人間とは他者の痛みがわかる人間だと思っております。

● 3.11 の教訓をさらなる原点に

- ♣ 2011. 3. 11 の東日本大震災の当日、県の災害対策本部が立ち上がりましたが、最初に驚いたのは「医療班」がないことでした。これがないと私達には被災地の正確な情報が伝わってきません。薬や全国から被災地に派遣されてきている DMAT(編者注: 下記)の動きも把握できないのです(これは全国どこも同じ)。

正確な情報を得るため、自分たちの足で稼ぐしかなく、本学の救急救命センターのベテランスタッフ 4 人で 2 名 1 組のチームを 2 班づくり、沿岸部の南部と北部に派遣しました。「一切医療行為をするな。情報だけ持ってきてほしい」と指示して。

- ♥ 県の災害対策本部の一角に医療班を設置してもらい、「いわて災害医療ネットワークセンター」を立ち上げました。現場の混乱を避けるために全国から来る医療チームにライセンス(承認)を与えることとし、冬用タイヤ確保、食料・寝泊り自前確保、医薬品持参(足りない場合備蓄基地から)を条件にしました。また、どこの避難所にどこの医療チームを何日まで入れるかの行程表を作りました。岩手の災害医療が落ち着く基となったと思います。

● 患者にやさしい医療を目指して

- ♠ 矢巾町への総合移転の中で最も早く実現させたのがドクターヘリのヘリポートでした。病院の屋上ではなく地上に設置することにし



岩手医科大学矢巾キャンパスマップ

ました。地震災害の場合エレベーターは使えないことは大震災の経験から明らかでした。

- ◆ 大震災の経験からエネルギーセンター(発電所)を設けました。停電すると医療は止まります。重油と LNG を蓄え、千床の病院の電力をまかなう非常電源を確保しました。

- ♣ 海外の大きな病院を視察してみて、患者本位の診療科配置になっていないと感じました。私は新病院を患者の歩く距離が短い病院にしようと設計しました。評判は上々のようです。

♥ 私は「医師は患者の傍に」という考えを自戒の句としています。大学病院では医師はそれぞれの医局にいますが、多くの国立大学病院の場合病棟とは別棟になっています。医師が実験をする研究中心になっているのです。新病院では病棟の中に医局を配置したところです。

● コロナ禍を越えて

- ♠ 岩手県は全国の中でも新型コロナウイルス初感染者が出たのが一番遅かったのですが、その理由は①人口密度が希薄②真面目な県民性③粘り強さにあると考え、話してきました。

- ◆ 本学の病院では当初から入り口は一カ所に、来院者の体温測定、PCR 検査後の手術などを徹底しました。県唯一の特定機能病院である当病院でコロナが蔓延すると全県の医療崩壊につながるの思いで取り組みました。

- ♣ 時代がどんなに変わろうとも、「良医」の養成こそが医療改革の礎だと思います。私は、本学の伝統を基に、「智と徳の世界一の学校にする」ことを目指してまいります。

編者注: ディーマット。専門的な訓練を受けた医師・看護師などからなり、災害発生直後から活動できる機動性を備えた医療チーム

❀ ロシアによるウクライナ
侵攻に想う ❀



黒岩 幸子(ゆきこ) さん
(岩手県立大学特命教授、盛岡市)

相原: 本年 2 月のロシアによるウクライナ侵攻は世界に衝撃を与え、許しがたい暴挙と感じられるものの、一方では歴史や国際ルールなどを踏まえた冷静な見方・考え方が必要とも思います。

そんな中、ロシアを中心とした国際問題がご専門の黒岩先生のお話をお伺いする機会に恵まれたのは幸運でした。ご多忙の中のご対応に感謝しつつ、学ばせていただきたいと存じます。

黒岩: 岩手県立大が開学した 1998 年に札幌から移ってきて、盛岡在住 25 年目になりました。この度の侵攻には私自身大いに驚き、戸惑っており、以来ずっと考え続けてきました。この度このような機会をいただき、現在の考え・想いをお話しできればと思います。

♥ ♠ 以下質問部分を省略 ◆ ♣

● 略歴など

♥ 出身は九州(佐賀市)ですが、父が東京で仕事していたため、東京で育ちました。

もともと専門は哲学だったのですが、第二外国語でロシア語を選択したことがき



ウクライナに侵攻したロシア軍戦車

っかけで、ロシアにどんどんハマってしまいました。文学研究だけではつまらなくなり、ソビエト時代に JAL のモスクワ支店に勤務し、日本人スタッフにロシア語を通訳する仕事をしていました。その後日本でロシア語通訳の仕事をしていた頃、岩手県立大学でロシア語教員のお話があり、同大学にお世話になりました(総合政策学部助手～助教授、高等教育推進センター准教授、教授を経て現職)。

● ロシアによるウクライナ侵攻について

♠ ロシアが専門でもあるので、今回の侵攻には驚きがつくり来ました。まったく予想できませんでした。私だけでなく、ロシア研究者のみんなも落胆です。まさかロシアがこんなことするとは思っていませんでした。

前述のようにこの問題を考え続けてきましたが明確な答えをいまだに持っていません。

◆ ひとつ原因として挙げられることに NATO の東方拡大があります。マスコミはじめプーチンが独裁的に軍事侵攻したという論調が多いですが、それはあり得ないと思います。ロシアのナショナリズムとウクライナのナショナリズムのぶつかり合いがなければ戦争にはならないでしょう。ゼレンスキー大統領はもともとは親ロシア派でした。しかし、それでは人

※ 本稿の画像は編集事務局挿入

気が取れず、NATO 側につくことで国民の支持を得て、政権を取ったという経緯があります。ゼレンスキー氏がもう少し外交をうまくやっていたら、ロシアの侵攻を受けずに済んだということはあると思います。ロシアが国際法や国連憲章に違反しているのは確かですが、一方的にロシアが悪いというのではなく、戦争が終わった後冷静に分析すべきことが多いと思います。

- ♣ アメリカなど武器供与する国が自国民からは犠牲者を出さずに、ロシアの弱体化を図ろうとしているというのはいかなるものか。ウクライナを救うのが目的ではなく、ロシアの弱体化のために武器を供与するというのは残酷だと思います。

● ロシアとウクライナの基本関係

- ♥ 同じスラヴ民族であり、言語的には近いです。文法はほぼ同じですので、3 カ月くらいお互いの言語を勉強すれば、話せるくらいの言語的な近親関係はあります。

ソビエトロシア時代の政治的指導者もウクライナ出身者が多いです。ゼレンスキー氏自身もロシアでロシア語を話すコメディアンをしていた方です。その意味で、今回の紛争が民族的な違いによるものだというのは正しくはないと思います。一部の人達が政治的に先鋭化して行って、軍事的に衝突したという印象を受けます。

- ロシアをどう見るべきかについて
- ♠ ロシアほど、一般の人々の印象と政権の印象が乖離している国はないと思います。ロシア人と日本人はお互い付き合いやすいと言われています。それは北方領土にもともと住んでいた日本人島民の方もそう言っています。フィンランドの方も同様な



印象をロシアやウクライナの人々に対して持っているようでした。

他方、ロシア政府は怖いという印象が強いです。その理由はロシアには市民社会が浸透する時代がこれまでなかったことに起因していると思います。

- ◆ それほど多くのロシア国民が戦争を支持しているとは思えません。また、ロシアには世界からの情報が入っていないかと言えばそんなことはありません。とはいえ、ウクライナが出て行って NATO に入ったら、ロシアの安全保障上問題だという意識はロシア国民の多くが持っていると思います。

- 今後世界においてこのような悲惨なことを招かないために大切なことについて

- ♣ 日本では第 2 次世界大戦以降、戦争当事国にはなっていないため、戦争はもはや過去のものだと思っている国民が多いです。しかし世界では、オリンピックやカンヌの映画祭の開催と同じように、戦争のような争いごと人類の一つの営みの如く行われると痛感させられます。アメリカも世界各地で戦争をしています。日本では自国に関連の薄い地域での争いが取り上げられたり注目されたりしていないだけです。今回を機に日本でも世界での様々な戦争に注意を向けて、声を上げていくことが重要だと思います。

いわて未来研論壇・随想

✿ 中心課題は、「ウイズコロナ・ポストコロナ時代の健康・医療・福祉」です。 — ✿

☆ 「災害」と「新型コロナ」 ☆



熊坂 義裕 さん

((社) 社会的包摂サポートセンター代表理事、
医学博士、前宮古市長、宮古市)

「よりそいホットライン」は、2011 年に東日本大震災の被災者支援のために立ち上げた無料電話相談です。「どんな人のどんな相談にも寄り添う」、私たちはこう決めて相談支援を始めました。

スタートした当初は、このシステムが日本全体に対して有効であるとは思ってもいませんでした。被災地という特殊な状況だからこそ、求められるシステムだと考えていたのです。ところが、国の補助を受け相談対象を全国に拡大した後、「よりそいホットライン」への電話数は驚異的な数字（1 日約 3 万件）まで増加し、今日に至るまで一向に減少する気配がありません。それは取りも直さず、日本社会には、「深刻な困り事」を抱えた国民が想像以上に大勢いることを明らかにしたということでもあります。

「よりそいホットライン」にかけてこられる



皆さんは、家族がいても孤立し、障がいや病気に悩み、仕事がなく、家族の不和や暴力に直面し、生きる力さえ奪われてしまったと感じている方が多いのです。今思うと、そういう状況におかれている方は「少ない」のだと、無意識に考えていたように思います。しかし現実は違いました。私に見えていた風いだ水面の下には、嵐が吹き荒れていたのです。

「よりそいホットライン」への相談者は複合的な要因による社会的な排除に直面し、孤立を深めている人が実に多いのです。「よりそいホットライン」はこれらの困り事に寄り添いながら新しい支援の形を探求しつつ日々変化をしながら今日まで発展してきたといえます。

現在、全国 38 の地域センターにおよそ 1200 人の相談員を擁し、自治体ではとてもできない 24 時間の稼働を続けてきました。今では全国で 1900 を超える民間団体と繋がり、電話相談から同行支援、そして社会資源へと繋いできました。

DV などの女性相談、セクシャルマイノリテ

※ 本稿の画像は編集事務局挿入

イ、外国人（15ヶ国語で対応）、自殺防止、そして主に福島県からの東電福島第一原発事故による広域避難者向けの専門相談ラインを開設しています。2018 度からは時代の流れを捉えて電話だけでなく SNS というテキストでの相談にも取り組んでいます。

DV 被害者は行政の対面窓口相談に行ける人は殆どいません。セクシャルマイノリティも同様です。日本に暮らす外国人は 270 万人にも達します。自殺者数はかなり減少したとはいえ未だに年間 2 万人を上回っています。原発事故後に伴う県内外への避難者数は 33,365 人(2022 年 2 月現在)と未におびただしい数となっています。

日本社会のニーズを誰よりも先にキャッチして、それに相応しい支援のあり方を追求していくことが「よりそいホットライン」の使命になったと感じていた矢先に突然襲ってきたものは誰も予想しなかった新型コロナウイルス感染症でした。

この感染症はなんと災害に似ていることでしょう。家庭が、職場が、学校が大きな変化を余儀なくされました。街の風景も変わり、高齢者を含め、オンラインがとても近いものとなりました。

以下のような相談事例を見ていただきたいと思います。

～コロナの影響で仕事量が減り、生活のやりくりができない。仕事を続けていくのは難しいと感じているが、今の仕事以外の経験や資格があるわけではない～

～コロナのために父の仕事が無くなり、弟も仕事ができない状況。家では母親を介護している。数ヵ月前に親類が他界し、自分もこれ以上生きていても意味がないかなと思う～

～風俗産業で働いていたが、コロナで閉店に

つな
禍



なった。住宅確保給付金を申請したが受理されず、家から追い出されそうになっている～

～コロナで大学がオンライン授業になり、授業のストレスから身体を壊した。いつも辛い事ばかり考えて自殺したくなる～

～コロナ流行後、アルバイトが無くなり無収入状態になった。出身国からの仕送りも見込めない。来日中だった夫は帰国できなくなった。借金をして生計をつないでいるが、もうこれ以上は借りられない～

新型コロナウイルスで、「大切な人や、仕事や、家をなくし希死念慮が強まる」人々がいる。生活が困窮し心身を病む。感染したことでいわれのないバッシングを受ける。これらは災害被災者の状況となんと似ていることでしょうか。コロナの影響が「被災」に近いとすれば「コロナ前」に困り事を抱えていた人々が更なる困難に直面していることは容易に想像できます。

感染症専門医の経験を有する立場から言えば、コロナによる先の見えない状況は暫く続くと覚悟しなければなりません。「コロナ禍」にあって「よりそいホットライン」の果すべき役割を見直し気持ちを新たにしなければと思う今日この頃です。

石柱記者の取材レポート

✳ このコーナーは、元報道記者

石柱有慎さん(会員、編集スタッフ)の会報テーマに沿った現場取材レポートです。

◆ 弱者守る感染症対策を ◆



社会福祉法人
つくし会理事長
熊谷 茂 さん

新型コロナウイルスによるパンデミックが猛威を振るい始めてから既に2年以上が経過したが、一連の未曾有の災厄は私たちの生活、社会にはかり知れない影響を及ぼした。この先どう収束するのか、今後のさらなる流行にどうすればいいのか、これまでの対応について早急な検証が求められている。このところ、オミクロン株が主流になり重症化率が低いため、もう克服できたかのような空気が出始めている。しかし、依然として全国どこかで毎日死者は報告されており、その多くが高齢者という事実は見過ごせない。

県内でも流行の当初から介護施設などでのクラスター発生が相次ぎ、その傾向は続いている。福祉施設は集団生活を基本としており、感染対策にも難しさがある。新型コロナで浮かび上がった課題について、一関市で特別養護老人ホームなどを運営する社会福祉法人つくし会理事長の熊谷茂さん(67)に話をうかがった。



一関市の特別養護老人ホーム明生園

いちばんつらかったのが、家族との面会を制限したことだという。「最期の看取りの時間だけは確保できるよう一時的に緩和したが、それでも直に手を取って別れを告げることができず、遠方にいる家族などは特に気の毒な思いをさせてしまった」と悔やむ。この2年余りの間に20人を超える入所者を通常とは異なる形で見送ることになった。福祉系の大学を卒業して高齢者福祉の道ひと筋に歩んできた熊谷さんにとっては、人生最後の時間を幸福に過ごしてもらうことを最も重要と考えてきたので、痛恨の一時期だったといえる。

つくし会が運営する施設では、幸い入所者への感染はなく、クラスターの発生もなかったという。しかし、職員が陽性、あるいは濃厚接触者となるケースはあり、出勤停止の措置やショートステイの受け入れを停止するなど対応に迫られた。「感染弱者」ともいえる高齢者が24時間、集団で生活する施設内で、いったん感染が広がれば、対応は困難を

極める。特別な対策が必要となるが「人のやりくりや、感染防止のための衛生用品など費用の工面は各法人の自助努力に任されている」と語る。

熊谷さんは岩手県社会福祉法人経営者協議会会長を務めており、各施設の実情も掌握している。「食事の世話、おむつ交換など日常的に身体的接触が多く、感染予防といっても容易なことではない。認知症の人への対応はさらに難しい」。設備面、人員面でも、感染者を完全に隔離することは不可能に近い。

「発症した入所者を医療機関で受け入れてほしいが、病床が逼迫している時期は、結局その施設で療養を続けるしかないという実態がある」という。

ワクチン接種についても、介護従事者は利用者に感染させてはならない立場なのに、

「医療従事者が打ち終わってからとなり、もどかしい思いがあった」と言い、介護従事者に対する接種の優先順位を医療従事者と同等とするよう求める。

この2年余りのコロナ禍を通じて見えてきたのは、克服可能と思えた感染症に対し医療が迅速に対応できなかった現実と、社会的弱者にしわ寄せが集まったという実態だ。流行当初から高齢者をはじめとするリスクの高い人たちや、ケアする立場の人たちを対象に重点的な対応を行っていれば、もっと死者数や重症者数を少なくすることは可能だったのではないか。

日本は諸外国と比べて感染者数、死者数が比較的少ないとはいえ、検査、ワクチン接種の体制など公衆衛生上の基本的な対策がお粗末だったことは明白だ。6月に新型コロナ対策を検証する政府の有識者会議が報告書をまとめたが、中身は乏しく、感染症対策の司令

塔組織をつくるべきだとの提言でお茶を濁した感が否めない。今後、各方面で本格的な検証がなされると思うが、

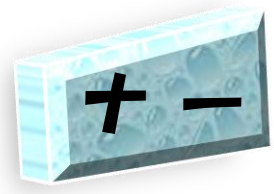
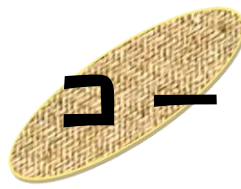
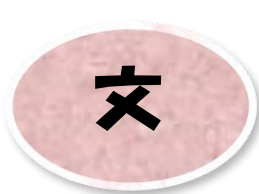
その際どんな未来を見据えることになるのだろう。高齢者福祉という観点から熊谷さんにうかがってみた。

「地域との交流を深めることが重要と、さまざまな年中行事を企画してきた。それらがみな中止になってしまったことは残念だが、イベントは盛大な方がいいという考えも、今回を機に反省しなければならない。日常生活の中で楽しみを見つけていくのがやはり本来の姿だと思う」と、コロナ禍を契機に身の回りから見直していく必要性を挙げる。

また現在、高齢者人口がピークを迎えつつある。「施設の規模が適正なのかなど過渡期を迎えている。介護施設の再編成の動きが今後加速していくだろう」と見る。その中でも重要になるのが、コロナ禍の反省も踏まえ、余裕を持った人材の確保であり、「特に女性が安心して活躍できる環境づくりが急務だ」と強調する。

新型コロナのようなパンデミックには医療水準の高さや、国民皆保険といったこれまでの蓄積だけではなく、社会全体で対処しなければ乗り切れないことが分かった。社会的弱者にしわ寄せが行かないようにするために何が必要か、今後、広くかつ深く検証を深めていくことが重要となる。





俳句みらい

共鳴句鑑賞

俳人(会員)

岩渕

正力



凶悪なプーチン嫌う青い薔薇

古い散歩菓膳コーラ味香り

◎讃美歌や骨撒き海の日なりけり

評 人間の終焉にかかわる作法は、土葬、火葬、水葬、風葬などなど、民族、宗教、時代と千差万別である。鳥葬はチベットだったろうか。親鸞は(自分を)加茂川に流せと言ったとか。揚句は背景はわからないが、海への散骨。

高橋 小秋



原色の好きなご婦人虞美人草

追伸の文字を乱せり雷走る

◎香煙を掴み身にふる夏帽子

中村 セイ子

評 お寺の境内でよく目にする光景である。手水舎で手を洗い、口をすすぎ、香煙を身にまとう。身にまつわる俗臭を雪ぎ浄めるための作法だが、大切なのは真心だろう。

紫蘇揉んで生命線を浮きたたす

◎立ち止まる時は胸張る羽抜鶏

地団駄をときには踏んであめんぼう

評 多くの鳥類は六月から八月ごろにかけて換羽するので、羽抜鶏は夏の季語になっている。実に哀れでみずばらしい姿である。よたよたと走る姿は最たるものだ。立ち止まった時、これではいかんと見栄を張ったか。



衣川 しづか

夜のうちに脱ぎ捨てられし蛇の衣

つばめの子ただひたすらに口をあけ

◎芭蕉句碑に列なして蟻のぼりけり

評 芭蕉祭で「英訳の三行句碑や平泉の日」という句が特選に入っているが、これは、芭蕉の句を新渡戸が英訳したものを詠んだ句だが、知らなければ何かなんとかわからない句だ。揚句を一工夫して結びつけたら名句になると思った。



鈴木 正子



◎泥足も楽し生徒の田植会

ミーデーに子も参加してプラカード
小昼時麦稈帽も一休み

評

水沢農高で何十年も前から田植競争をやっている。今はわからないが、一般の部もあったみたいで、いささか自信のある自分も出てみたいと思ったがチャンスが無かった。田植に限らず子供たちはけっこう泥かましが好きようだ。

種田 勝



◎郭公のよく鳴く日なり水田揺る

すれちがふ傘彩るや金魚草

輝くには降り足らぬ雨美女柳

評

減反政策に依る「水張り休耕田」というものを見てないとわかりづらいかも知れない。代掻きのための「田水張る」と勘ちがいすると、まだ郭公は早いだろうとなる。水張りは年中水を張ったままなのである。のどかな田園風景。

菅原 節香



渡辺 タエ子

◎退院の青嶺まぶしき今朝の窓

丸かぢりそれともサラダ初とまと

評 私も昨年入退院を体験したが真冬だったので、青嶺ではなく雪嶺だった。退院すれば、病院で寝ていた方が良かったと思うほど忙しい毎日が待っているのだが、やはり退院はうれしい。ましてや青嶺がまぶしいほどの天気の日なら。ト

マトはカタカナ書き。

◎父の日や青森産てふさくらんぼ

支柱越え芋蔓互恵の青天へ

近隣の空家どくだみ攻め来たり

評

青森といえぱりんご、さくらんぼは山形、桃は福島などが定番と思っていたら、父の日プレゼントが青森産のさくらんぼでどろいっている。桜桃忌の太宰は青森出身だ。関係ないか。

佐々木 田三男

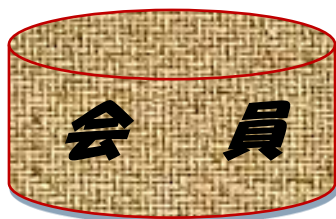


近 詠

夏輝の指舐め期日前投票

正力





◆ 私 と 俳 句 ◆

菅原 せつこう 節香

(本名: 節子、一関市)

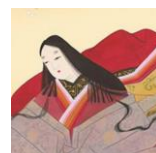


自分の事を書くのは気恥ずかしいのですが、振り返りつつ書いてみます。

小学生の時小学館の雑誌に一茶の句「雀の子 そこのけそこのけお馬が通る」など優しさとリズムのよさに夢中で読んだ記憶があります。姉が、宿題の句に悩んでいた時「元旦に又も当たらぬ果報団子」と母が一句。その句を出し先生に凄く褒められた話。思い出に強い印象を残しました。

父は筆を離さぬ人で、「字が下手だなあ」と何時も言われました。子育ての合間に近くの書道教室に通い始めました。頂いた雅号が香華でした。水沢から一関に戻ってからも書道は続けていました。ところが、会社の上部のミスで夜 10 時頃まで書き物に追い捲られる事になり、疲れ切った腕でやっと書く状態、「書家痙攣」という立派な病名を頂きました。

間もなく夫が癌で 5 年以内の宣告。手術後も思わしく無く私は退職。二か月後に他界しました。検査が辛いと話しながら真冬を病院で過ごしました。先を思えば不安ばかり。娘には「悪



いけどお母さん何の役にもたたなかったね」と言われる頼りなさ。認めます。皆に支えていただきました。

さて、俳句の世界に戻ります。父には突然に質問を受けました。「百人一首の中で一番好きな歌は」と聞かれた時は「きたあ」という思い。即座に小野小町の「花の色はうつりにけりないたずらに〜」。父の眼が笑っていた。遠い思い出です。

俳句会に興味を持ちましたが右手で書けず書もダメ。諦めていた時、奇しくもある大会で特選を頂いたのです。「熱帯夜仏の水を取り換える」でした。

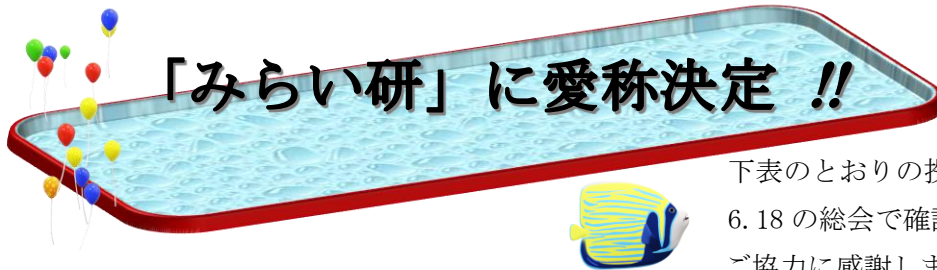
同席していた同級生から「心配無いよ!」の誘いに胆沢句会に入会。そして NPO 法人の俳句未来欄に投句する機会も得ました。評も楽しみ。それぞれの個性でとても楽しい。写真のカットも句とマッチし楽しいですね。

皆様との出会いに感謝です。

相原様有難うございます。

節香

※ 本稿の画像は編集事務局挿入



「みらい研」に愛称決定 !!



下表のと通りの投票結果となり、
6. 18 の総会で確認されました。
ご協力に感謝します。



いわて未来研会報兼情報誌の愛称に関する投票結果

単位: 票

区 分	① みらい	② MIRAI	③ みらい研	無効票	合計
正 会 員	23	13	48	15	99
賛 助 会 員	13	4	21	—	38
合 計	36 (有効票総数 の 29.5 %)	17 (有効票総数 の 13.9 %)	69 (有効票総数の 56.6 %)	15	137

(注) 1 有効票総数は 122 票 2 無効票とは投票欄への記載のないもの

米 ひとめぼれ
ささにしき

りんご
ふじ

なし
長十郎

菅野 苹果
地方発送受承ります

園 主 菅 野 耕 悦

岩手県奥州市江刺 愛宕字池向177番地

TEL 0197-35-1634
FAX

胆江地区では最多車種の教習が可能です

— 教育訓練給付金制度がご利用頂けます —

無事故を願う親の心で教習する

おおがね
大鐘の水沢自動車学校

0120-25-5158

水沢公園南 奥州市水沢大鐘町3丁目1番地

<http://www.mizusawa-ds.com/>

大型二種・普通二種・大型・中型・準中型・普通・けん引・大特・二輪(大型・普通・AT普通) フォークリフト

税務分野別に特化した専門チーム・総合力 NO.1 の

辻・本郷 税理士法人

代表社員 本郷 孔洋 (岩手県一関市出身)

税務顧問・相続・事業承継・公会計など
タイムリーにサービス提供いたします。

辻・本郷 税理士法人 盛岡支部
〒020-0021
岩手県盛岡市中央通2-11-18 明治中央通ビル5階
☎ 0120-10-0606
URL <http://www.ht-tax.or.jp/>

いわて平成松下村塾

塾生募集 !!

— 随時受け付けます —

これまでの七期で 7 市町村 18 名の塾生
が巣立ちました。1 名が県議、3 名が市議と
して活躍中。

